

CHASSIS TECHNOLOGY

いかに高度なパワーユニットやサスペンションを装備していても、ボディの剛性が低くは、ポテンシャルをフルに発揮することはできない。高剛性でしかも軽量なボディの実現は、インプレッサシリーズ全体のテーマである。そのため、コンピューターの構造解析による、主要結合部分の板組構造の最適化、遮音材、制振材の合理的な配置を実施。さらに、サイドパネルの一体構造やステアリングサポートビーム、アルミフロントフードなども採用することにより、きわめて軽量でありながら、曲げ・ねじれ剛性ともトップレベルの剛性を確保している。これにより、サスペンションや4WDシステム、さらにBOXERターボのポテンシャルをフルに引き出すことを可能とする、シャープでリニアなハンドリングと高度な限界性能を実現した。

ロングライフボディ: WRXは徹底した防錆対策により、ボディのロングライフ化も実現している。ドア、トランク部にメッキ鋼板を採用したほか、床下およびタイヤハウスまわりに溶融亜鉛メッキ鋼板を使用。さらに、ドア/サイドシルなどの閉断面への防錆ワックスの塗布やPVC(ポリ塩化ビニール)アンダーコート塗布などにより、きわめてハイレベルな防錆性能を獲得している。

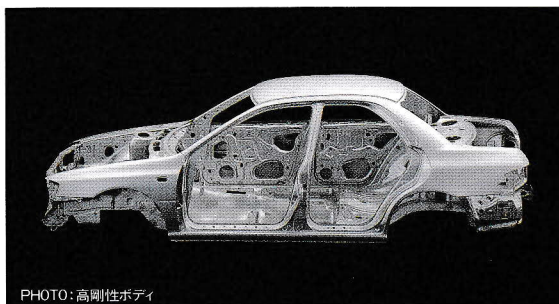


PHOTO: 高剛性ボディ

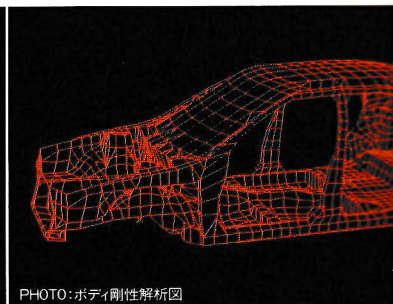


PHOTO: ボディ剛性解析図

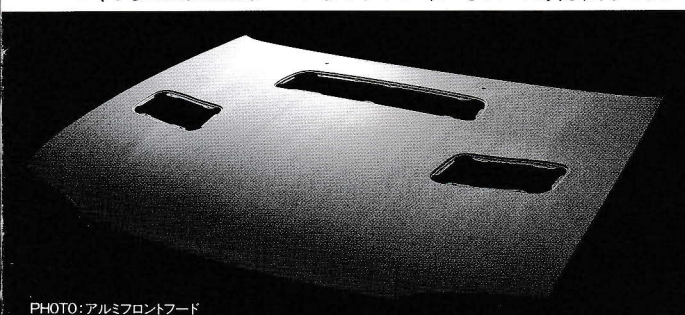


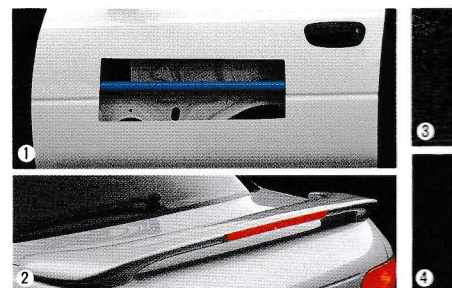
PHOTO: アルミフロントフード



PHOTO: WRX ブラックマイカ(上) ヴィヴィアンレッド(下)

SAFETY & RECYCLE

セーフティ: インプレッサWRXのハイポテンシャルにより、まず走りの安全性を確保しなければならぬ。WRXのメカニズムは、衝突などのアクシデントによる乗員のダメージを最小限に抑える「パッシブセーフティ」を未然に回避する「アクティブセーフティ」を重視している。ハイポテンシャル4WDシステム、ABS(ブレーキ・システム)、高剛性サスペンション&コントロールブレンスにすぐれたBOXERターボエンジンに至る。スバルのアクティブセーフティ思想に基づいて開発



①サイドアビーム(パイプ式) ②ハイマウントストップランプ(内蔵) WRX ③フロントシート一体シートベルトアンカー ④サイドインパクト保護機構

●後席3点式ELRシートベルト(2名分) ●ステアリングサポート機構 ●室内難燃化対策 ●ロールオーバー防止機構 ●二重アクセルリターンズプリング ●燃料逆流防止機構 ●ウオッシャー(WRX) *サイドアビームは撮影用に着色した物です

リサイクル: 省資源、環境保護の側面から、インプレッサWRXにも十分配慮している。構造の見直しによるリサイクルしやすい素材の採用や、再生材の活用。また、各部品にISO規格に準じた材質記号を表示し、リサイクルに配慮している。また、材料、構造、分別ともにリサイクルに配慮した

